

電波時計 取扱説明書

(デジタル電子音目覚まし時計)

お買い上げいただきありがとうございます。
お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
お読みになった後もお手元に保管して、必要に応じてご覧ください。

製造販売元 **リズム株式会社**
〒330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番地12
https://www.rhythm.co.jp

電池は付属しておりません。単3形乾電池を2個をご用意ください。

各部の名称と役割

◎図は操作説明用ですので、実際のものとは異なる場合があります。

(正面)
表示はアラームスイッチで変化
大小:アラーム時刻
OFF:月日
注意報の項目は常に表示。注意報の状態になると点滅します。
アラームの音孔

①時刻合わせ ②リセット ③戻る ④進む ⑤アラームスイッチ ⑥スヌーズ

①時刻合わせ——手動で日時を合わせるときに使用。押しすぎると12/24時間表示切り換え
②リセット——誤作動を防ぐために電池を入れた直後に押す。押しと2011年1月1日午前12:00、アラーム時刻午前6:00になります。
③戻る——アラーム時刻を手動で日時を合わせるときに使用。
④進む——きに進む。
⑤アラームスイッチ——アラームのON(大小)/OFFスイッチ。
⑥スヌーズ——アラーム音の一時停止、ライトボタン兼用。
※液晶の表示は、見る方向により薄くなったり、ムラになります。

1 使いはじめるとき 電池を入れて、標準電波を受信して日時を合わせる

標準電波を利用しないで、手動で時刻を合わせるときには、**(手動での時刻合わせ)**をお読みください。

(裏面)
電池がたまる 開ける
電池を入れるときは、電池がたまるを開閉してください。
注意
電池の⊕/⊖を指示と逆向きに入れると、電池の液漏れ・発熱・破裂の原因となります。

電波を受信しやすい窓際などに置いてください。
1 電池を入れる
電池を入れると「ピー」と鳴ります。
※短い時間に電池を入れ替えると鳴らないことがあります。
2 楊枝など細いものでリセットボタンを押す
「ピー」と鳴って、受信マークが点滅し受信を開始します。
※受信中はボタンに触れないでください。
3 21分待ってから受信結果を確認する
受信は最長で21分を行います。受信マークで受信結果を確認してください。
→【受信の流れと表示】参照
※転倒や落下を防ぐために、水平で振動の少ない安定した所に設置してください。

【受信の流れと表示】

(リセット直後) (受信開始)
20:00 12:00
12月25日 12月25日
23:54 23:54
受信マーク (受信中点滅)
曜日により表示位置が
変わります。
電源投入直後およびリセットボタンを押した直後は、2011年1月1日 午前12:00、アラーム時刻午前6:00に設定されます。

●転倒や落下を防ぐために、水平で振動の少ない安定した所に設置してください。
●受信マークは受信成功後、24～25時間点灯。
●受信に成功しても、ノイズにより誤った日時を表示する場合があります。このようなときには、場所を変えてリセットボタンを押して再度受信を試みてください。
●電波の受信中に進むまたは戻るボタンを押すか、時刻合わせボタンを約2秒間押し続けると、受信マークが消灯して受信を中止します。

受信中の受信マークの変化(電波サーチ機能)

電波の状態により変化します。
受信できない 受信しやすい
1 2 3 4
受信終了まで最長21分待つ

チェック!

1～2分経過しても①または②の受信状態が続く場合は受信できません。場所を変えてリセットボタンを押して再度受信を開始させてください。

受信終了まで最長21分待つ

(表示例)
受信成功 受信失敗
受信マークが点灯 受信マークが消灯
正しい日時を表示 日時は正しくありません

電波を受信しにくい環境

次のような場所では受信できない場合や誤った日時を表示することがあります。
●工事現場、空港の近くや交通量の多い所など電波障害の起きる所
●金属製の雨戸やブラインドの近く
●ビルの中、ビルの谷間、地下
●高圧線、テレビ塔、電車の架線近く
●朝夕の時間帯、雨天のとき
●家電製品やOA機器の近く
●スチール机等の金属製家具の上や近く

標準電波を受信できない場合

●朝までそのまましておく
一般的に、夜間は電波状態が良くなるので、手動で時刻合わせをして一晩そのままにしておく
と受信できる可能性が高くなります。

●場所を変える/受信をやり直す
ペランダや電波の受信しやすい窓ぎわで取扱説明書の日本地図を参考に、電波の送信所に時計の正面または裏面に背を向くように置き直し、リセットボタンを押して結果を確認します。

手動での時刻合わせ…電波が受信できないとき、任意の日時に合わせるとき

操作例に従って、年(西暦)、月、日、時刻(時/分)の順に設定してください。

1年 2年
2011 2023
12月25日 12月25日
23:54 23:54
3時 6分 秒
3月 4日
10:37

操作例:2023年12月25日 午前10:37に合わせる
①年(西暦)が点滅するまで時刻合わせを約2秒間押し続ける

点滅している数値を進むまたは戻るで合わせてから時刻合わせを押すと数値を確定して次に進みます
ボタン 押しとすぐ離す 押し続ける
進む 1つ進む 早送り
戻る 1つ戻る 早戻し

●約30秒間ボタン操作を中断すると、表示されている内容で設定を終わります。
●アラームが鳴っているときやアラーム時刻が点滅しているときは、日時の設定はできません。
●標準電波を受信できないときの時間精度は、クォーツ精度になります。

②年(西暦)を合わせる ③月を合わせる
④日を合わせる ⑤時を合わせる
⑥分を合わせる
※分のときに進むまたは戻るを押すと秒が00になります。
以上で設定は終わりです。

2 アラーム機能を使う

アラーム時刻を合わせる

1 アラームスイッチをOFFにする
アラーム状態のときは、アラーム時刻を設定することができません。
2 進むまたは戻るボタンを押してすぐ離す
「ピー」と鳴ってからアラーム時刻が点滅。
3 進むまたは戻るボタンでアラーム時刻を合わせる

アラームスイッチのON/OFF設定

アラームマーク アラームスイッチ ON 設定時刻に大/小アラームが鳴る
OFF 鳴らない
ONにするとアラームマークが点灯して、アラーム時刻を表示
アラームONの「大」「小」は音の大きさをです。

12時間表示のとき 午前/午後の表示
アラームON/OFFの切り替え
アラーム時刻 12:21 23:54
12月25日

④約5秒間ボタン操作をしないとき設定を終わる
アラーム状態とは、アラームが鳴っている、またはスヌーズ機能を使用している状態です。

アラーム音を试听するには

アラーム時刻を現在時刻より、1～2分進んだ時刻に合わせて、アラームスイッチを「小」または「大」にしてください。設定した時刻にアラームが鳴り出します。

◎スヌーズ機能(止めてもまた鳴る)
アラームが鳴っているときに、スヌーズボタンを押すと、アラームマークが点滅して約5分間アラームが停止してからまた鳴ります。この操作は7回まで繰り返すことができます。8回目からはスヌーズ機能は使えません。

アラームご使用上の注意

アラームスイッチをOFFにしなさいと毎日アラームが鳴ります。アラームを使わないときはOFFにしてください。

照明について

スヌーズボタンは、ライトボタンを兼ねています。ボタンを押すと表示画面が約3分間照明されます。照明をしたときは、時計より方角を向く。他の方向から見ると読みにくいことがあります。

時刻の表示形式を切り替え

時刻合わせボタンを押してすぐに離すと午前/午後12時間表示と24時間表示が切り替わります。
次の状態のときは、表示の切り替えができません。電波の受信、アラーム状態、アラーム時刻、日時の設定中。

温度・湿度・注意報について

本製品は、一般的な家庭やオフィスなどの室内用です。
○センサーが時計内部にあるため、時計周囲の温度・湿度を反映するまでには時間がかかります。
○直射日光の当たった場所や冷暖房器具、加湿器、除湿器などの近く、温室、サウナ、浴室、冷蔵庫、車の中では使用しないでください。
○測定する高さによっても、温湿度に違いが出ることがあります。
※厳密な温湿度管理をする用途には適していません。また、温湿度の証明や商取引には使用できません。
■測定範囲を超えたときの表示とその意味
温度「HH」50℃を超える高温 「LL」-9.9℃未満の低温
湿度「HH」95%を超える多湿 「LL」20%未満 「--」測定不能(温度が5～50℃の範囲外)
■注意報の点滅表示 温度・湿度の条件により該当する注意報が点滅します
【熱中症】 高温環境下で発症しやすいくなります。
【食中毒】 菌が増殖しやすくなります。
【インフルエンザ】 インフルエンザウイルスによる感染が起こりやすくなります。
【カビ】 カビやダニの生育に適した条件です。
※注意報は、カビの有無を判定するものではありません。空調や体調管理などの目安としてお使いください。また、公的機関から発表される「注意」や「警報」とは一致しないことがあります。

電池の交換について 早めに交換して液漏れを防ぎましょう

注意 電池の液漏れにより、時計の修理や家具などの修繕に費用が発生することがあります。電池の液漏れや発熱、破裂を防ぐために、次のことをお守りください。

- 液晶表示が薄くなった、アラーム音が鳴らなくなったときは、速やかに指定の電池に交換するか、電池を取り出す。
- 電池の⊕/⊖を逆に入れない。
- 動いていても1年に1回、定期的指定の電池に交換する。
- 古い電池と新しい電池、種類の異なる電池を混ぜて使わない。

電波受信機能のON/OFF切り替え操作

受信機能 OFF (時刻を標準電波で修正しない) 受信機能 ON (有効にして受信を開始する)
リセットボタンを約1秒間隔で3回押ししてください。戻すボタンを押しながら、リセットボタンを押すと「ピー」と鳴って3回押ししてください。
○OFFになると「ピー」と鳴りません。
○日時は手動で合わせてください。
※操作のタイミングによっては、ON/OFFが切り替わらないことがあります。このようなときには操作をやり直してください。
※受信機能の設定は、電池を抜いて回路内に電荷がなくなるとONになります。

リセット操作

電池を入れた直後や静電気などにより誤作動したときにリセットボタンを押します。
リセット直後は、2011年1月1日午前12:00、アラーム時刻は午前6:00になります。
受信機能がONのときは、受信を開始します。

静電気の影響について

●静電気により、正常に機能しなくなることがあります。このようなときにはリセットボタンを押してください。

お手入れについて

- 汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤や石けん水を、やわらかい布に少量つけてふき取り、その後、からぶきしてください。
- ケースなどの汚れ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。

時計、電池の廃棄

- お住まいの自治体の指定に従ってください。
- 製品を廃棄するときは、電池と本体を分別して、使用済みの電池はゼロハンテープなどで絶縁してください。

おもな製品仕様

使用温度範囲	-10～50℃※結露しないこと (液晶表示可読温度範囲0～40℃)	温度表示範囲	-9.9～50℃
時間精度	標準電波受信直後の表示精度 ±1秒	温度の精度	±2℃
使用電池	単3形マンガン乾電池 JIS規格 R6P 2個 ※単3形アルカリ乾電池を使用することができます	湿度表示範囲	20～95%RH(H)
電池寿命	約1年(1日当たりアラームを音量大で30秒鳴らし、照明を3秒点灯した場合) 平均月産±30秒(常温中のクォーツ精度)	湿度の精度	±10%RH
標準電波機能	標準電波受信により自動時刻修正	測定間隔	1分間隔
受信ON/OFF	あり	(注)湿度は相対湿度です。「%RH」は相対湿度を表しています。天気予報など一般には「%」が使用されています。	
受信回数	8回/日	※液晶はその特性上、0℃以下になると表示反応が遅くなったり、表示が薄くなる場合があります。	
アラーム機能	標準電波受信により自動時刻修正	40℃以上になると表示が濃くなり、ムラに見えることがあります。	
アラーム精度	設定した時刻に対して±0秒	※液晶表示は5年を過ぎると、コントラストが低下して数字が読みにくくなる場合があります。	
アラーム音	電子音(鳴り方が変化)	交換した電池寿命は、新たに「おもな製品仕様」の使用電池に交換した場合に適用となります。	
音量	大小 選択方式	※製品仕様は改良のため、予告なく変更することがあります。	
スヌーズ	アラーム音が約5分間の一時停止		
オートストップ	アラーム音が連続2分対応自動停止		
カレンダー	2011～2099年対応		
時刻表示形式	12時間/24時間 選択方式		
照明	明 スヌーズボタンを押すと3秒間照明		
防滴防塵機能	なし	付属品	保証書 1枚

安全にお使いいただくためにはじめにお読みください

ここに示した注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。
必ず守ってください。

図記号の説明 ○は、禁止(してはいけないこと)を示しています。
●は、指示する行為を必ず守ることを示しています。

警告 死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容
誤飲を防止するため、小さな部品や電池は、幼児の手の届く所に置かない
万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。
電池からの液漏れや発熱、破裂を防止するために、次のことを守る
●電池に傷をつけない。
●電池を交換しない。
●電池をショートさせない。
●電池を充電しない。
●電池を加熱しない。
●電池を火の中に入れない。

注意 傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容
電池の⊕/⊖を正しく入れる
液漏れや発熱の原因となり、けがや故障の原因になります。
強い振動や衝撃を与えない
故障や破損の原因になります。
浴室やサウナ、温室など、高温・高湿になる所では使わない
さびや故障の原因になります。
ぬれた手でさわらない
さびや故障の原因になります。
分解や改造をしない
けがや故障の原因になります。
液晶から漏れた液に素手でさわらない
破損で漏れた液には絶対にふれないでください。万一、手などに付着した場合は、すぐに石けん水で洗い流してください。

電池のご注意 (電池の正しい使いかた)

電池のご使用上のポイント 正しく使って事故をなくしましょう

- プラス(+)、マイナス(-)を間違えない。
- 時計が動いていても定期的に交換する。
- 長期使用しないときは電池を取り外す。
- 電池に表示されている使用推奨期間内に使う。
- 幼児の手の届かぬ所に置く。
- 古い電池と新しい電池を混ぜない。
- 種類の異なる電池を混ぜない。

電池の種類について

●アルカリ乾電池とマンガン乾電池は形状的に互換性があり、一般にアルカリ乾電池のほうが長持ちします。
●一般に充電式の電池は電圧が低く、時計には不向きですので使用しないでください。
●一部の電池は、形状的に本製品には不向きな場合があります。
(例:Panasonic EVOLTA(エボルタ)乾電池) ※「EVOLTA」は、パナソニック株式会社の登録商標です。

電池の寿命について

●温度などの使用条件により、電池寿命が製品仕様より短くなることがあります。

電波時計について

電波時計とは
クォーツ時計に標準電波を受信する機能を搭載し、標準電波を受信することにより、自動的に正確な時刻に修正する標準電波。
標準電波送信所は、福島県の「福島局:おおかたや山標準電波送信所」と佐賀県と福岡県の県境にある「九州局:はかね山標準電波送信所」の2カ所にあります。
電波の受信範囲について
送信所から約1200km離れた場所でも受信可能です。ただし、受信範囲であっても電波障害(太陽活動、季節、天候、置き場所、時間帯(昼/夜)あるいは地形や建物の影響など)により、受信できないことがあります。
※標準電波の詳細については、情報通信研究機構のホームページをご覧ください。(https://jij.nict.go.jp)
標準電波の送信停止について
送信所の定期点検や落雷などの影響で、標準電波の送信が停止することがあります。標準電波の送信状態については「情報通信研究機構」のホームページをご覧ください。
海外でのご使用について
この時計は、日本以外の標準電波は受信できません。海外で使用した場合、まれに日本の標準電波を受信し、日本の標準時を表示したり、ノイズにより誤った時刻を表示することがあります。海外で使用する際には、電波受信機能をOFFにして手動で時刻を合わせてお使いください。

アフターサービスについて

この時計のアフターサービスは、お買い上げ販売店がいたします。次の記載事項と保証書をよくお読みの上、ご利用ください。お買い上げ販売店でアフターサービスが受けられない場合は、当社総合サポートにてお問い合わせください。保証期間中の場合は、販売店の保証書が必要です。
●修理部品の修理について
電子回路などの保有している性能部品は製造打ち切り後、3年間を基準に保有しています。ただし、ケースなどの外装部品の修理には、類似代替品の使用や現品交換で対応させていただきます。ご了承ください。
この製品のサービスおよび技術サポートは日本国内でのみ利用可能です。
Service and technical support for this product are available only within Japan.

お問い合わせ先 リズム総合サポート
https://rhythm.jp/support/
商品照会の際は、製品裏面または底面に表示している製品番号(型番)をご確認ください。例:8RZ○○○
お客様相談室:0120-557-005 受付時間:9:00～17:00(土日、祝日および当社休日を除く)

この取扱説明書を許可なく複製、変更することを禁じます。本製品を使用することによって生じたいかなる支出、損益、その他の損失に対してはなから責任を負いかねますのでご了承ください。